

2006年(平成18年)3月期
決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社
2006年5月16日

◆ 目 次 ◆

- * 2006年3月期決算概況および2007年3月期業績見通し
- * 新・中期経営計画「**WIT2008**」について

2006年3月期の決算概況

決算の概況(連結)

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

■ 2006年3月期決算概要

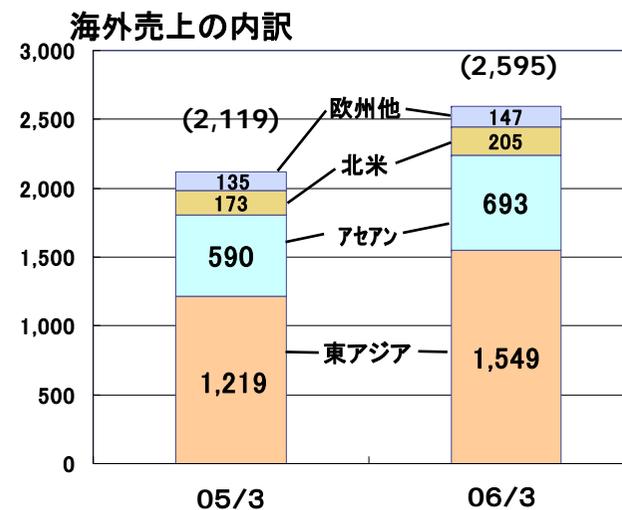
増収・増益・・・全項目で対前年比プラス・中間期修正見通しも上回る

	06/3	05/3	増減	前年比	(参考) 2006年3月期 中間期時点見通し
売上高	6,480	5,756	+723	113%	6,250
売上総利益	676	619	+56	109%	663
営業利益	175	132	+43	133%	174
経常利益	187	151	+36	124%	185
当期純利益	128	103	+25	124%	123
1株当り当期純利益	100円33銭	81円00銭	+19円33銭	124%	—

地域別売上高

(単位:億円)

売上 6,480億円 前年比 723億円増加

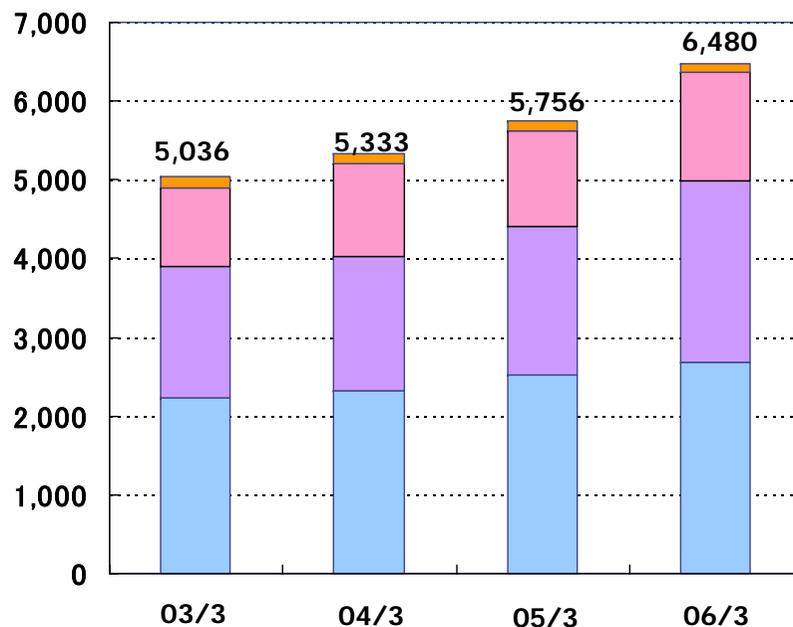


— 海外売上比率高まる —

- ・ 海外現地法人の業績好調
- ・ 合成樹脂関連がアジア向けを中心に増加
特に中国・香港・台湾向け(グレーターチャイナ)
- ・ 自動車関連の北米向け販売拡大

セグメント別売上高

(単位:億円)



	2003年3月	2004年3月	2005年3月	2006年3月
■ 化粧品	2,236	2,313	2,517	2,692
■ 合成樹脂	1,658	1,709	1,884	2,292
■ 電子	997	1,189	1,226	1,378
■ ヘルスケア・他	144	119	128	116

セグメント別売上概況 (前年比較)

化粧品 + 175億円 (107%)

- 塗料原料・ウレタン等自動車関連増収
- 顔料および油剤等が好調

合成樹脂 + 408億円 (122%)

- Gチャイ向けメディア媒体・精密機器外装材用途が好調
- 自動車関連は国内・海外ともに好調

電子 + 152億円 (112%)

- 液晶関連素材・部材の加工ビジネスが伸長
- 精密研磨剤関連も好調
- 液晶モジュール関連は減収

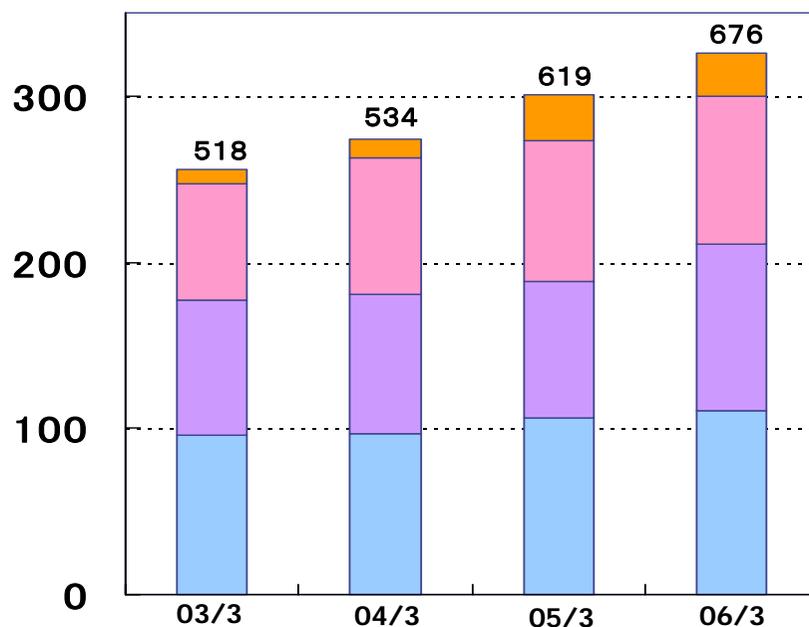
ヘルスケア・他 ▲12億円 (91%)

- 化粧品・健康食品は前年並み
- メディカル関連事業見直しにより減収

セグメント別売上総利益

(単位:億円)

売上総利益 676億円 前年比 56億円増加



合成樹脂を中心とした売上げの増加によるもの

セグメント別売上総利益概況 (前年比較)

化粧品 + 19億円 (109%)

合成樹脂 + 27億円 (116%)

電子 + 11億円 (106%)

ヘルスケア・他 ▲1億円 (96%)

	2003年3月	2004年3月	2005年3月	2006年3月
■ 化粧品	186	192	212	231
■ 合成樹脂	165	161	179	207
■ 電子	149	168	174	185
■ ヘルスケア・他	16	13	52	50

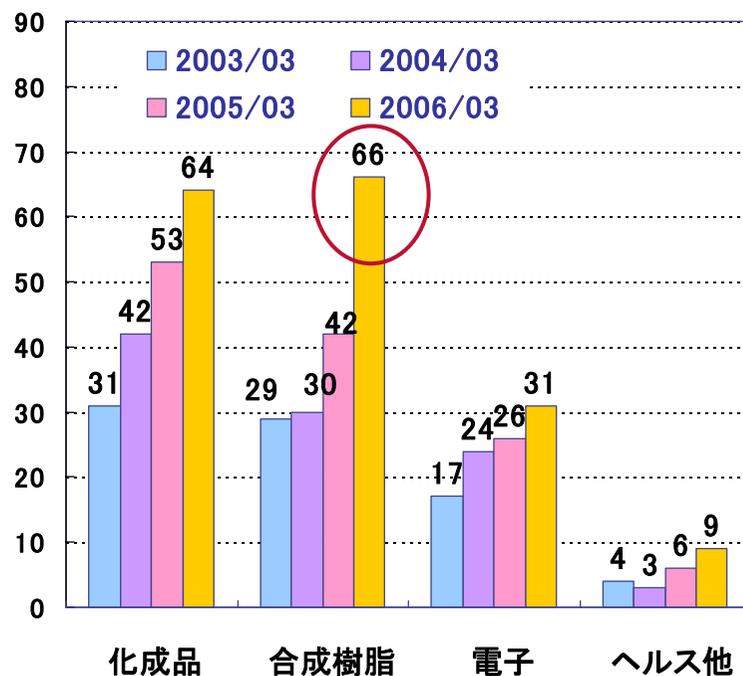
営業利益

(単位: 億円)

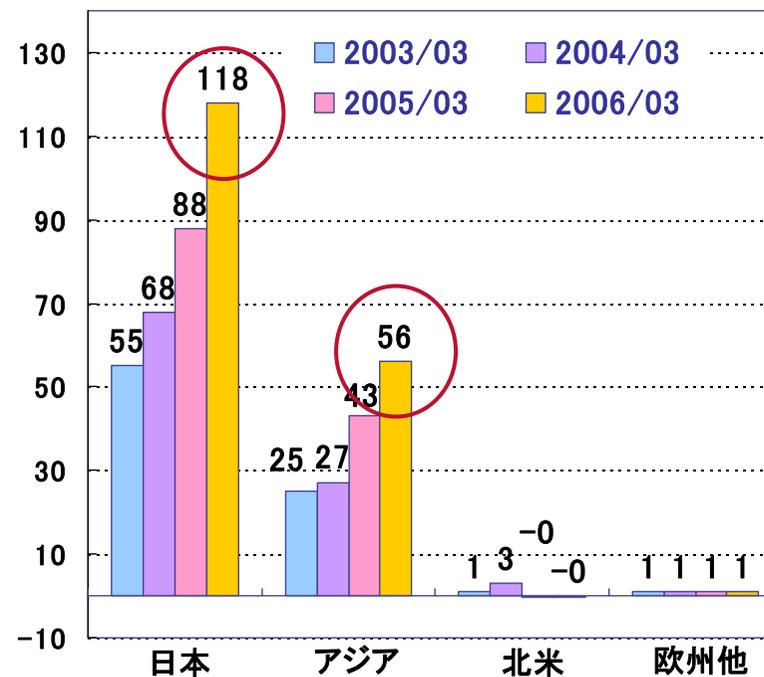
175億円 前年比133% 43億円増加

- 化成品は増収の影響もあり堅調に推移
- 合成樹脂は単体での増益に加え、アジア現法の増益

<事業セグメント別営業利益>



<所在地セグメント別営業利益>



営業外損益・特別損益

(単位:億円)

<営業外損益>

	06/3	05/3	増減	前年比
営業外損益	12	19	▲6	63%
金融収支	9	8	0	103%
その他	2	10	▲7	28%

<特別損益>

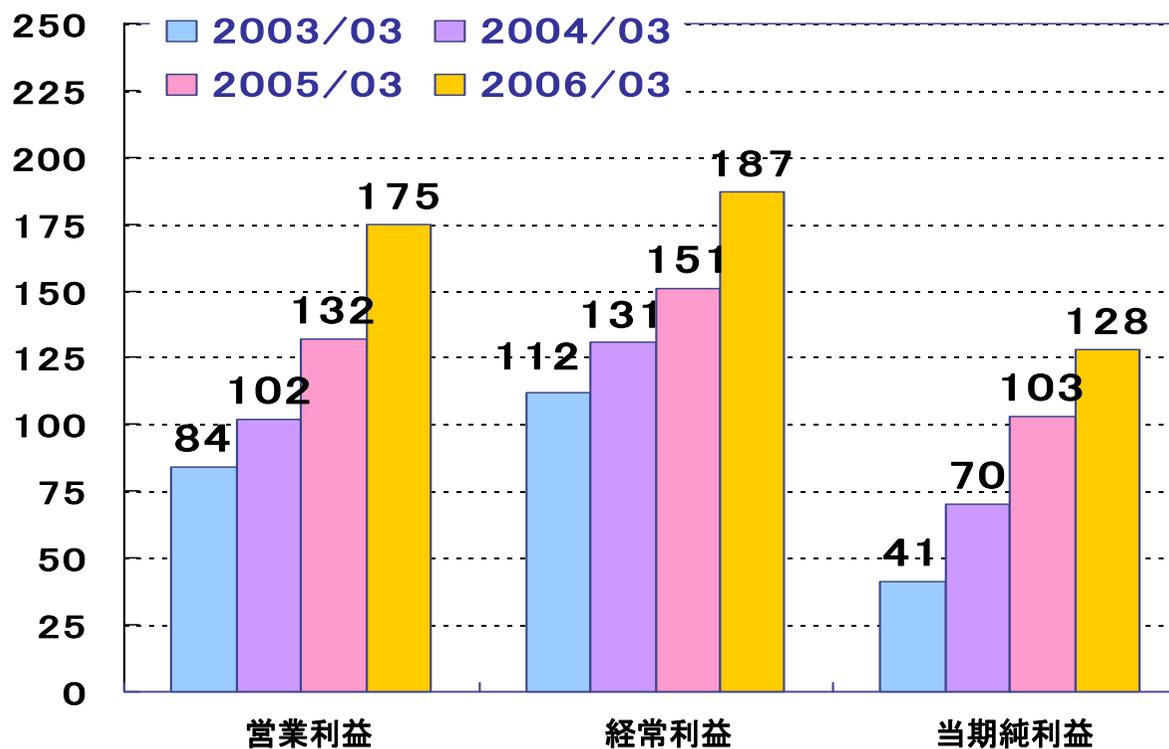
	06/3	05/3	増減
特別利益	22	36	▲13
固定資産売却益	10	20	▲9
投資有価証券処分益	11	15	▲3
特別損失	4	12	▲7
固定資産廃棄損	2	2	0
その他	2	9	▲7

經常利益・当期純利益

(単位: 億円)

經常利益：187億円 前年比124% 36億円増加

当期純利益：128億円 前年比124% 25億円増加



主な貸借対照表の増減

①投資有価証券の時価上昇 ②増収に伴う売掛債権の増加

(単位: 億円)

《資産》	06/3	05/3	増減	《負債及び資本》	06/3	05/3	増減
現金及び預金	235	178	+56	支払手形及び買掛金	1,188	1,106	+81
受取手形及び売掛金	1,946	1,733	+213	短期借入金	143	105	+37
棚卸資産	402	363	+39	コマーシャルペーパー	50	—	+50
その他流動資産	78	71	+6	その他流動負債	221	200	+20
有形固定資産	308	296	+11	長期借入金	55	34	+20
投資有価証券	933	658	+274	(有利子負債)	(248)	(140)	(+108)
その他固定資産	63	50	+12	その他固定負債	286	186	+100
				少数株主持分	57	48	+9
				株主資本	1,966	1,670	+295
				(うち自己株式)	(▲56)	(▲59)	(+3)
				(株主資本比率)	(49.6%)	(49.8%)	
資産合計	3,967	3,352	+614	負債・少数株主持分 資本合計	3,967	3,352	+614

キャッシュフローの状況

(単位:億円)

・税前利益増加 ・運転資金の増加

	06/3	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	▲23	税前利益 205億円 運転資金 ▲180億円 法人税等の支払額 ▲65億円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲38	固定資産取得 ▲36億円 固定資産売却 11億円 有価証券取得 ▲21億円 出資金の取得 ▲12億円 有価証券売却 25億円
財務活動による キャッシュ・フロー	93	短期借入金 28億円 コマーシャルペーパー 50億円 長期借入金 25億円
現金及び 現金同等物の期末残高	229	前期末比57億円の増加

主な連結子会社の業績

(単位:百万円)

	社名	売上高	前年比	営業利益	前年比	当期利益	前年比
単体	長瀬産業	473,351	107%	6,822	132%	7,747	129%
製造会社	ナガセケムテックス	22,751	108%	1,932	175%	1,686	272%
	東拓工業	7,658	104%	616	132%	790	59%
販売会社	ナガセプラスチック	11,111	93%	79	86%	44	84%
	報映産業	12,786	96%	193	104%	158	164%
	長瀬カラーケミカル	13,667	100%	52	32%	15	18%
海外	ナガセ香港	45,153	138%	1,140	107%	942	107%
	ナガセシンガポール	29,989	101%	727	119%	680	110%
	ナガセタイランド	21,705	125%	756	111%	592	116%

2007年3月期業績見通し

2007年3月期業績見通し

(単位: 億円)

	2007年3月期 (予想)	2006年3月期 (実績)	前年比 (%)	増減
売上高	6,940	6,480	107%	+459
売上総利益	735	676	109%	+58
営業利益	212	175	121%	+36
経常利益	227	187	121%	+39
当期純利益	136	128	105%	+7

* 為替レートは、1ドル113円として計算しております。

2007年3月期セグメント(旧)別売上高の業績見通し

(単位:億円)

	2007年3月期 (予想)	2006年3月期 (実績)	前年比
化成品	2,817	2,692	105%
合成樹脂	2,569	2,292	112%
電子	1,463	1,378	106%
ヘルスケア・他	91	116	78%
合計	6,940	6,480	107%

2007年3月期セグメント(新)別売上高の業績見通し

(単位:億円)

	2007年3月 (予想)	2006年3月 (実績)	前年比
化成品	2,347	2,222	106%
合成樹脂	2,569	2,292	112%
電子	1,408	1,320	107%
ライフサイエンス	536	564	95%
その他	80	79	100%
合計	6,940	6,480	107%

新・中期経営計画 「WIT2008」

知恵をビジネスにする技術・情報企業

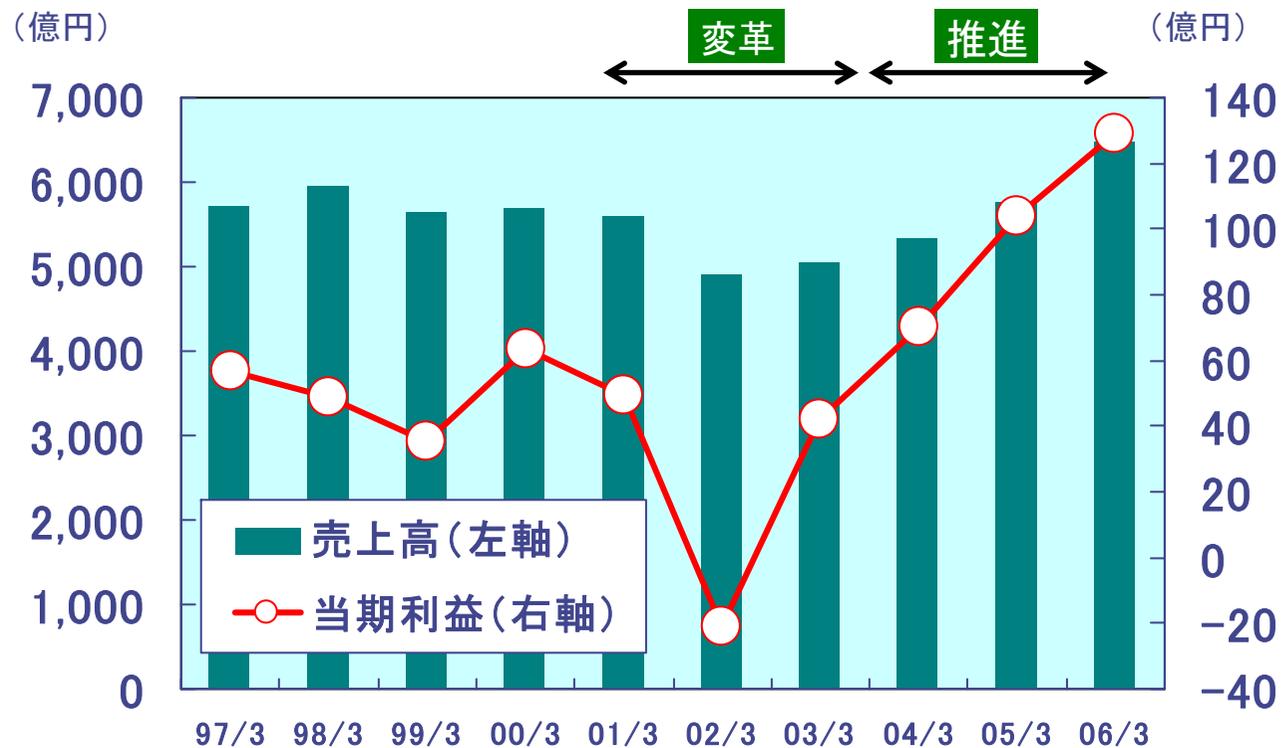
W* ---- *Wisdom

I* ---- *Intelligence

T* ---- *Technology

最近10年間の業績 と 中期経営計画の概要

「WIT2000」	変革	01/3～03/3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営基盤変革 ■ グループ経営開始
「WIT21」	推進	04/3～06/3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業方向性の明確化 ■ 事業基盤の強化 ■ 経営基盤の強化

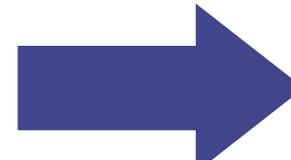


「WIT21」実績 と 「WIT2008」数値目標

「WIT21」実施前

2002年度実績

- ・ 連結売上高 5,036 億円
- ・ 連結営業利益 84 億円



「WIT21」当初目標値

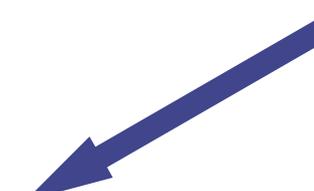
2005年度目標

- ・ 連結売上高 5,500 億円
- ・ 連結営業利益 110 億円

「WIT21」前倒し達成

2004年度実績

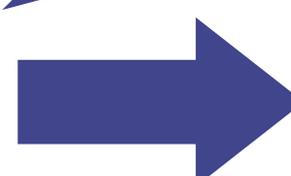
- ・ 連結売上高 5,756 億円
- ・ 連結営業利益 132 億円



「WIT21」最終結果

2005年度実績

- ・ 連結売上高 6,480 億円
- ・ 連結営業利益 175 億円



新・中期経営計画 「WIT2008」 目標

2008年度

- ・ 連結売上高 7,700 億円
- ・ 連結営業利益 240 億円



「WIT21」 総括（前倒し達成要因）

エレクトロニクス

- ・液晶関連分野拡大（光学フィルム、モジュールから部材加工へ）
- ・ナガセケムテックス等の製造機能を海外展開（中国・無錫等）
- ・戦略的提携拡大（半導体後工程メーカー買収）

ライフサイエンス

- ・非天然アミノ酸製造技術、ローズマリーエキス開発スタート
- ・製造拠点統合（ナガセケムテックス・福知山への集約）

自動車関連

- ・成長地域での販売拠点拡大（広州、天津、武漢 等）
- ・合併製造会社群拡大（設計、金型、精密金属プレス）
- ・優良取引先との関係強化（河西工業 ほか）

海外事業

- ・グレーターチャイナ、アセアンに注力（ナガセの得意な地域）
- ・ポストチャイナ地域への布石（ベトナム、インド等）
- ・海外販売比率 33%（02年度）→40%（05年度）

1. 重点分野を中心に、経営資源を投入した効果（内的要因）
2. 中国を中心とする海外での経済成長と原油価格による素材市況上昇（外的要因）

新・中期経営計画「WIT2008」基本戦略

持続的成長への体質強化

重点分野への積極投資

事業基盤の拡大

高収益への構造転換

事業ポートフォリオ戦略の深化

健全な財務体質の維持

連結経営体制の整備

リスクマネジメントの徹底

内部体制の強化

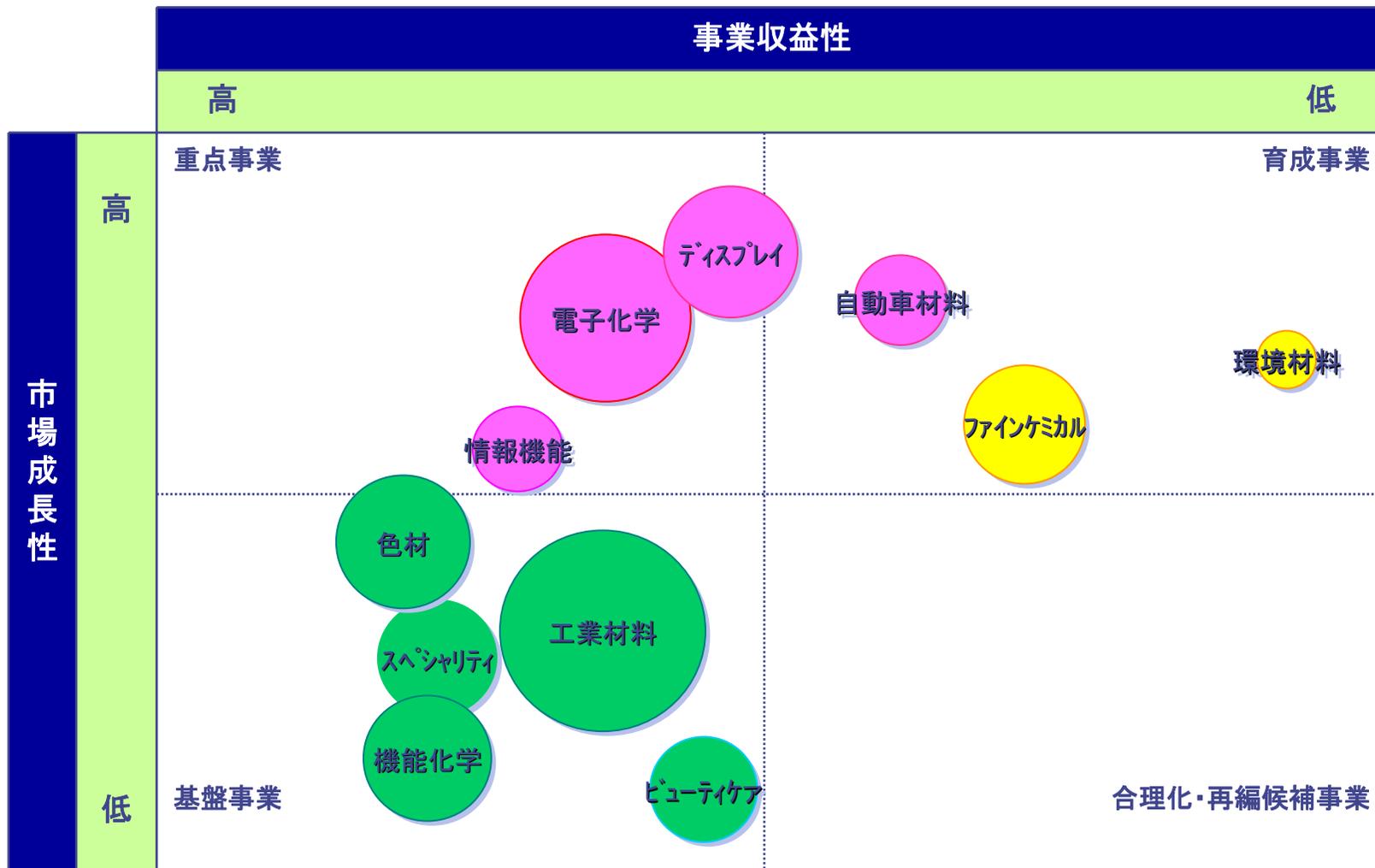
現場主義

人材の(質・量)充実

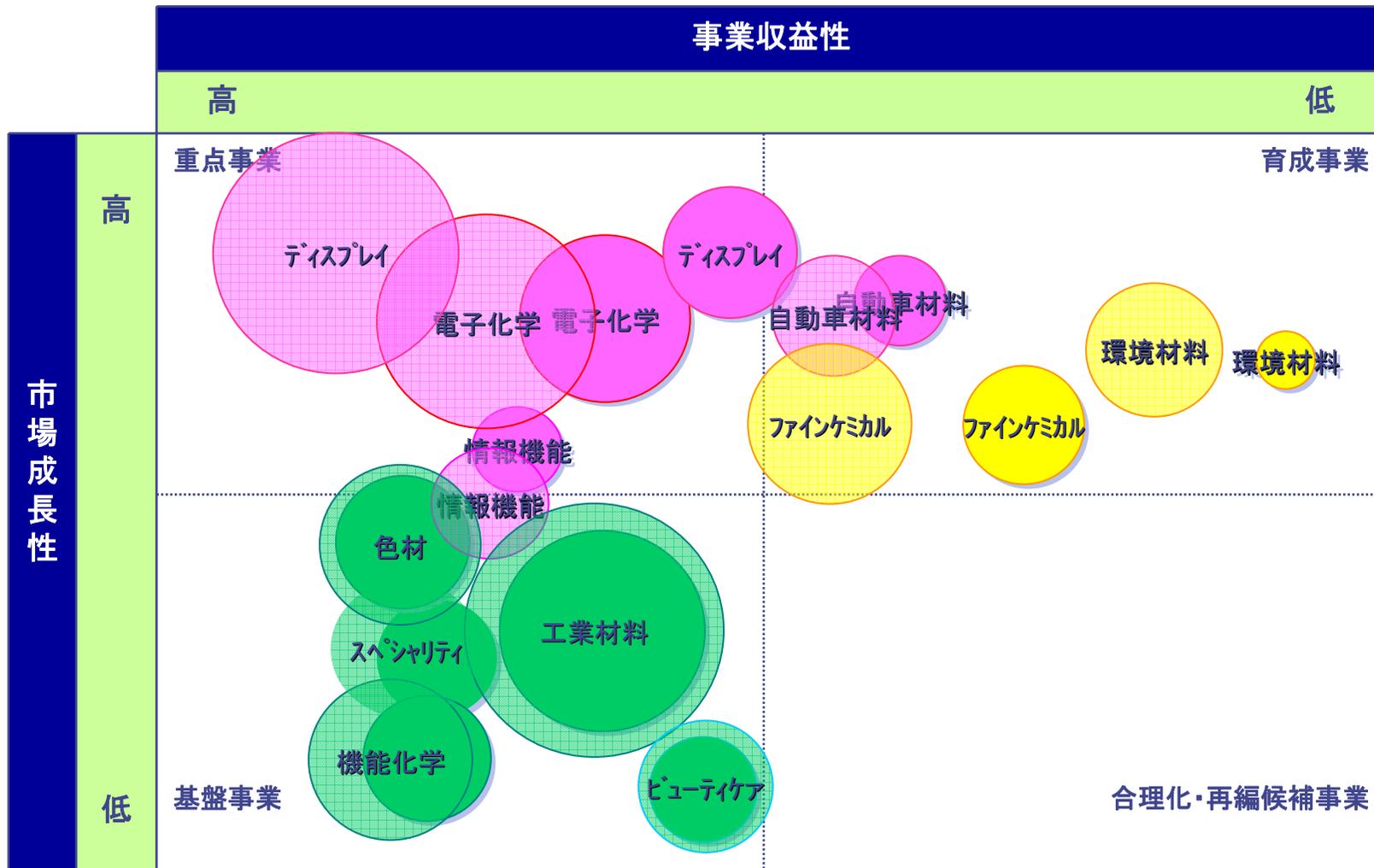
技術・情報力の強化

ナガセらしさの継承

「WIT2008」 事業ポートフォリオ戦略の深化（現在の姿）



「WIT2008」 事業ポートフォリオ戦略の深化（目指す姿）



「WIT2008」 高収益事業の伸長**■電子化学事業**

・グループ製造会社製品の事業拡大

(ナガセケムテックス(株)等 ①変性エポキシ樹脂事業 ②液晶・半導体用フトリソケミカル関連)

■ディスプレイ事業

・製造・加工事業の拡充

(液晶用光学フィルム・ガラス加工、液晶周辺部材の加工・組立など)

■その他の主な育成事業

・自動車材料事業 (グローバルアカウント拡大、戦略的提携及び合併事業の拡大)

・ファインケミカル事業 (ナガセケムテックス(株)等の有機合成、バイオ技術による製造事業)

・環境材料事業 (木質複合材料「プラスツド」事業の拡大)

投資総額 300億円(3年間)

「WIT2008」 高収益体質への改善

■事業整理・構造改善

- ・メディカルケア事業の抜本的見直し(2005年度実施済み)
- ・ナガセの存在意義が薄い不採算事業の見直しを継続的に実行

「WIT2008」 基盤事業の充実

■工業材料事業

- ・機能性樹脂(エンブラ)、汎用樹脂のグレーターチャイナ地区での事業拡大継続
- ・精密機器(プリンタ、複写機、液晶関連等)、デジタルメディア用途に注力
- ・成長地域での拠点拡充(ベトナム、インド等)

■機能化学品事業

- ・樹脂添加剤、塗料原料、コモディティーケミカル、ウレタン関連、フィルタ関連の5領域
- ・海外でのビジネス拡大(グレーターチャイナ地区等アジアでの拡大)
- ・物流機能の充実

■色材事業及びスペシャリティケミカル事業

- ・「色と光」に関係したデジタル関連用途等、成長分野に注力
- ・ナガセケムテックス(株)製品(有機導電性透明材料:テナロン)等の拡大
- ・有機合成、界面活性剤事業拡大と中国からの調達、製造委託等

「WIT2008」各事業に共通するナガセの強み

■海外戦略

- ・グレーターチャイナ地区深耕（製造拠点拡大等）
- ・アセアン地区拡大 → ベトナム、インドへの展開（現地法人化検討）

■製造・加工戦略

- ・ナガセケムテックス(株)を中心に製造事業の拡充（電子関連、医薬関連）
- ・ファブレスを含む製造・加工事業の拡大
 - 「製造・加工ビジネス」と「商社ビジネス」を両輪としてベストバランス化

「WIT2008」 内部体制の強化

■健全な財務体質の維持

- ・キャッシュフロー重視、営業キャッシュフロー改善
- ・資産の見直し継続

■リスクマネジメントの徹底

- ・事業構造の転換に伴う新たなリスクの認識・把握・抑制
- ・法規管理と内部統制の徹底

■連結経営体制の整備

- ・グループ経営の深化と運営体制の整備

■人材の質・量の充実

- ・「多様性」と「専門性」の確保と育成

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2006年5月16日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。